

松江市の財政状況

令和7年11月20日

松江市

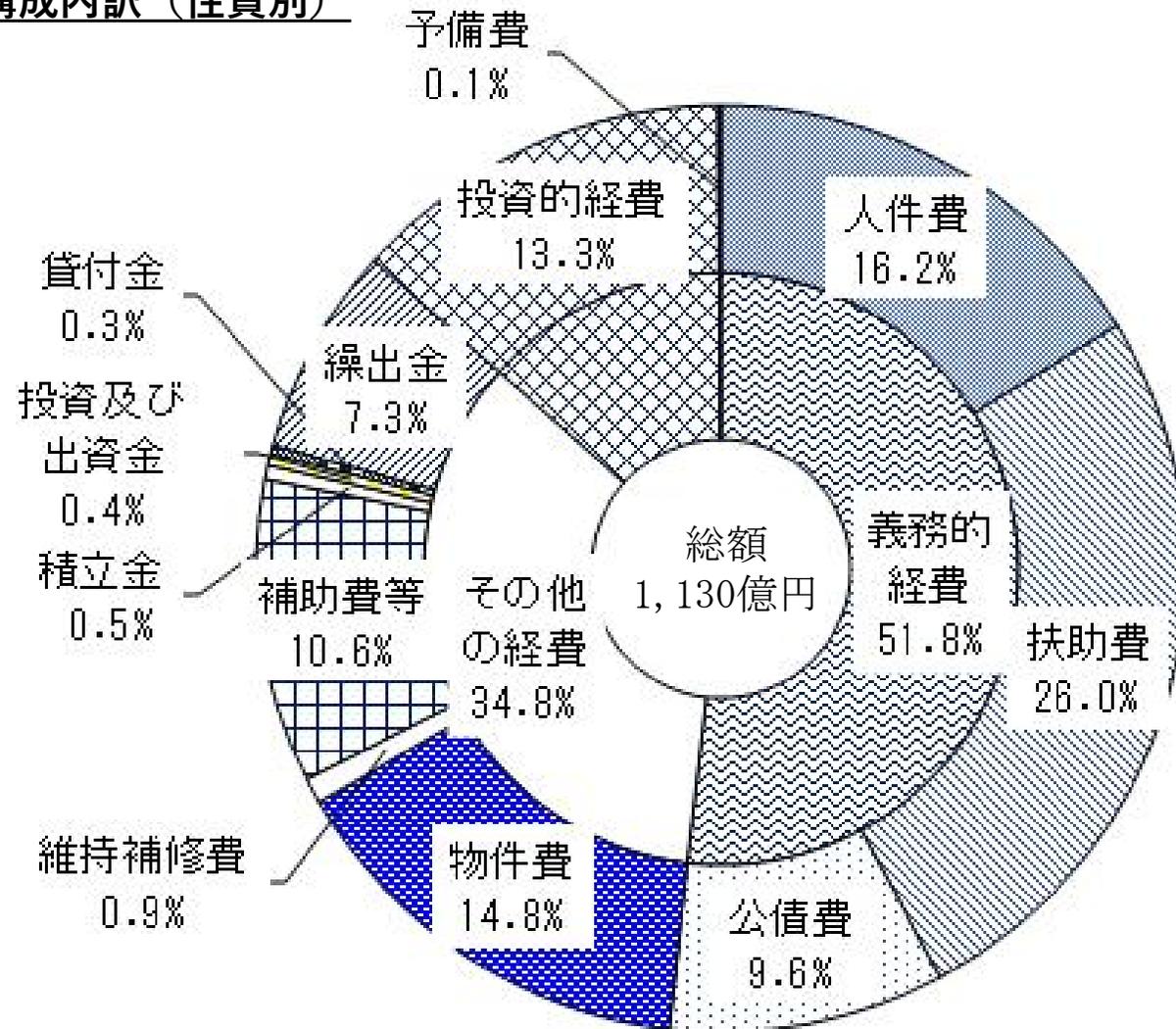


松江市PRキャラクター おまっちえ

令和7年度当初予算の状況（歳出の概要）

性質別の内訳は、人件費、扶助費、公債費の義務的な経費が51.8%と半分以上を占めています。
また、普通建設事業、災害復旧事業の投資的経費が13.3%を占めています。

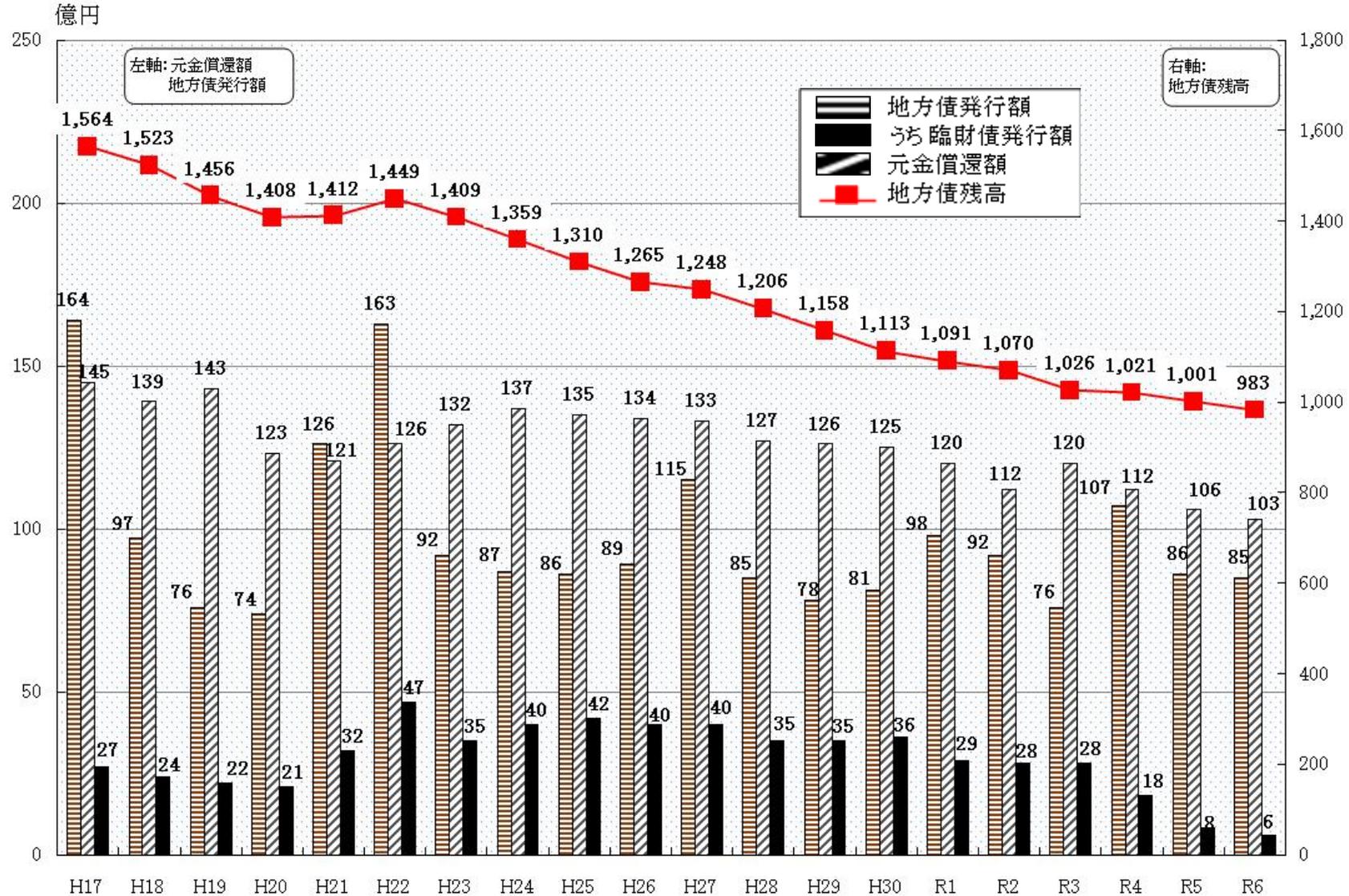
令和7年度当初予算 歳出構成内訳（性質別）



地方債発行額、地方債元金償還額、地方債残高の推移

地方債は、道路や河川などの整備のように、その受益が将来に及び、後年度の市民にもその負担を求めることが適当な事業を行う場合や、災害復旧など臨時に多額の財源を必要とする場合に認められる自治体の借金です。

松江市の地方債残高は平成23年度から減少傾向にあり、令和6年度決算時点の残高は983億円程度となっています。

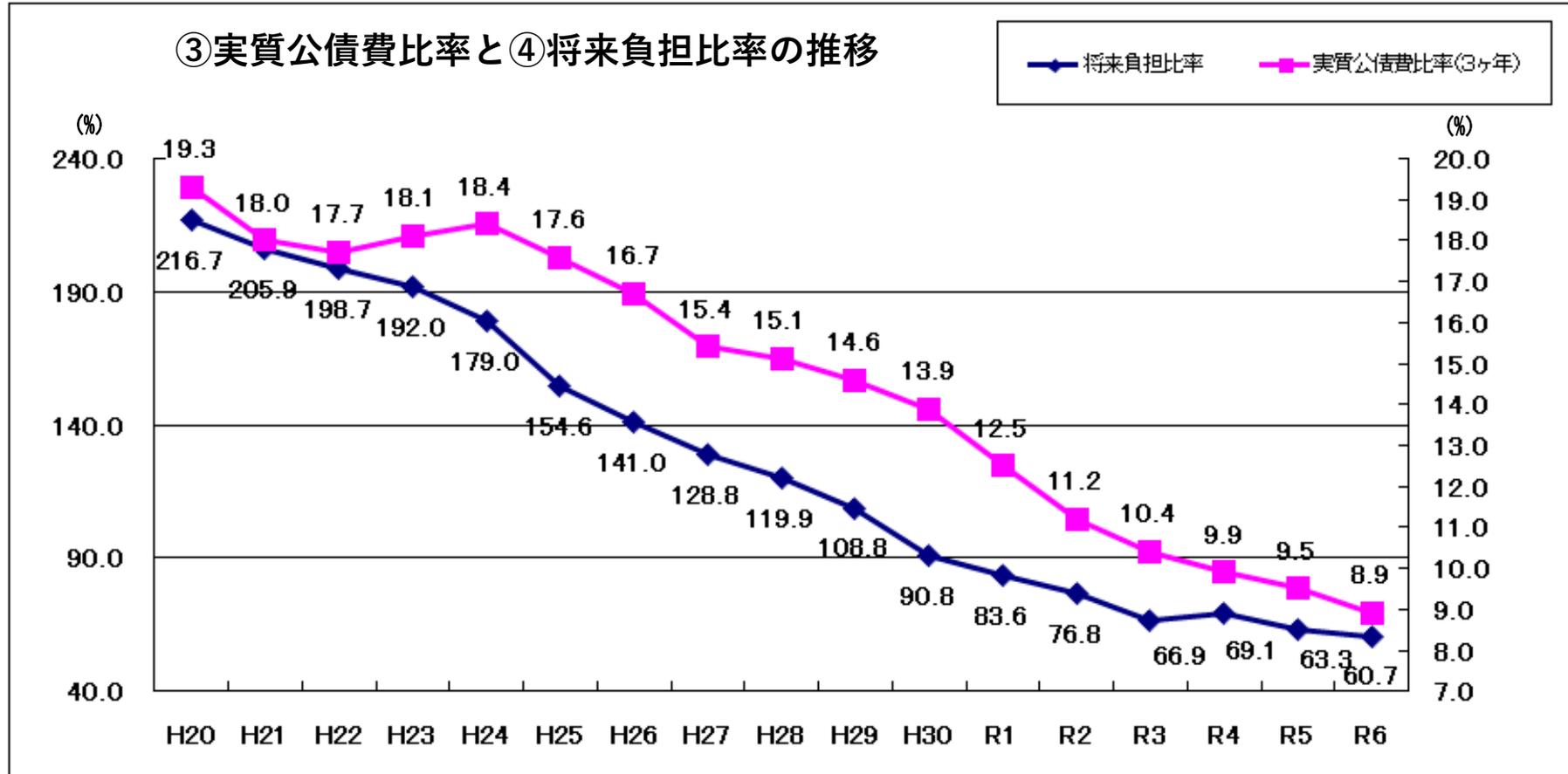


松江市の財政運営の健全性

松江市は、自治体の財政の健全性を示すためのいずれの指標も早期の健全化を要する基準には該当していない状況です。

①実質赤字比率 ー% (実質赤字なし)

②連結実質赤字比率 ー% (実質赤字・資金不足なし)



指標名	指標の説明	基準
①実質赤字比率	自治体の収入に対する赤字の割合を示す指標	早期健全化基準 11.25%、財政再生基準 20%
②連結実質赤字比率	公営企業などを含めた全体の赤字の割合を示す指標	早期健全化基準 16.25%、財政再生基準 30%
③実質公債費比率	標準財政規模に対する、借金返済に使うお金の割合を示す指標	早期健全化基準 25%、財政再生基準 35%
④将来負担比率	標準財政規模に対する、将来返す借金等の規模を示す指標	早期健全化基準 350%